



“地域共生社会”を目指して 地域で様々な活動をされている方と 地域福祉に取り組む方のための ともいき(ともにいきる)研修

“地域共生社会”とは？ 人と人、人と社会がつながり、1人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らせる包摂的な社会を指しています。

“地域共生社会”の実現に向けて 制度・サービスを充実させることや、質の高い専門職を十分に確保することも重要ですが、それだけでは実現できません。私たちの暮らす地域には、居場所や役割、出番を求めているけれども、心の中で様々な葛藤があって、声を挙げづらい方々がおられます。こうした方々の思いに気づき、日常生活や普段取り組んでいる地域活動で、見方を少し変えたり、少し工夫することで、“地域共生社会”の実現に近づいていきます。“ともいき研修”では、“地域で共に生きる”ために、一人ひとりが「明日から踏み出す一歩」を考えます。

プログラムは裏面参照

令和8年3月6日(金) 13時～16時40分

場 所

ウィルあいち 3階大会議室
愛知県名古屋市東区上笠杉町1番地

申込締切：2月25日(水)

参加費：無料

対 象

- ①地域で様々な活動（福祉に限りません）をされている方
(例) 企業、青年会議所、ライオンズクラブ、協同組合、労働組合、民生児童委員、住民組織、ボランティア・市民活動団体
- ②地域福祉に取り組む行政・社会福祉協議会・福祉事業者など

申込方法

QRコード又は次のURLよりお申込みください。

<https://forms.gle/t4nC3twNMLiPzTJ76>

※この方法で申込ができない場合は、お問合せください。



主催
お問い合わせ

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会地域福祉部

TEL 052-212-5502

FAX 052-212-5503

後援
(予定)

愛知県 名古屋市 中日新聞社会事業団 東海テレビ福祉文化事業団 NHK厚生文化事業団 日本青年会議所愛知ブロック協議会
ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区キャビネット 日本労働組合総連合会愛知県連合会 愛知県経営者協会
愛知県商店街振興組合連合会 愛知県商工会議所連合会 愛知県民生委員児童委員連盟 名古屋市民生委員児童委員連盟

会場地図



講話：13:05～13:35 (30分)

『地域共生社会の中でともに生きる』（仮）

【講師】学校法人日本福祉大学 学長 原田 正樹 さん

「地域共生社会」の意味とその背景の理解を深め、社会構造の変化による地域課題状況と関係する法整備等の動向から地域で互いに役割をもち支え合う大切さについてお話いただきます。



実践報告：13:35～14:35 (60分)

『地域でともいきの実践活動』

地域でともに生きることを目指して活動している2団体から報告いただきます。

【実践報告者】

① ちょっと いっぱくや（東浦町） 代表 田島 由美子 さん

“誰もが役割を持ち、活躍できる場”をモットーとして、できることをできる人が役割分担しながらみんなで作り上げる集いの場を運営されています。

② 特定非営利活動法人東海つばめ学習会 理事長 柿本 知樹 さん

春日井市を拠点に県内各地で多くの支援者の輪を広げながら、学習機会に恵まれない子どもたちに対して無償で勉強を教える活動を展開されています。

【コーディネーター】 学校法人日本福祉大学 学長 原田 正樹 さん

休憩(15分)

演習：14:50～16:30 (100分)

『地域でともに生きることを考える』

厚生労働省が提供している「地域共生社会の実現に向けた研修(ともいき研修)」を活用し、ロールプレイを通じて“自分”や“自分と違う人”の心の中の葛藤を体感する中で、“自分と違う人”を無意識の中で排除しようとしてしまう“自分”に気づき、いままでの見方を少し変えたり、少し工夫したりすることにより、これまで意識してこなかった“自分と違う人”のことも考えて行動できるようになること、これからの具体的な行動を起こしていくためのきっかけを作ることにつなげる機会とします。

※この演習は厚生労働省が開発した「地域共生社会を支える人材の養成に関する研修」のプログラムを使用して実施し、受講者に対し修了証が発行されます。

まとめ：16:30～16:40 (10分)

講師より全体の総括とメッセージをいただきます。

※内容及び時間については、変更することがあります。

この事業の経費の一部は赤い羽根共同募金を活用しています。

